

令和6年度 松江市立皆美が丘女子高等学校 学校経営計画

2024/04/01 職員会 校長

1 校訓

より広く より高く (平成15年制定)

より広い心と、より広い視野や知識をもとに、より高い志を抱き、個人の人格をより高めていくよう
努力しよう

2 スクール・アイデンティティ

自立 創造 共生

【R6追記】

+ 「より美しく よりしなやかに」

立ち居振る舞いの点で「麗しさ」、柔軟性や打たれ強さの
点で「しなやかさ」を身に付けよう

3 本校の使命(スクール・ミッション)

松江市立の女子高等学校として、地域社会に開かれた教育活動を通じて、松江への愛着とグローバル
な視点で夢を実現し未来を切り拓く力を培うとともに、松江市の未来の創造に参画するリーダーを育てる。

(令和5年3月20日松江市教育委員会より 再定義通知)

4 育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- ① 未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる生徒
- ② ホスピタリティ精神に富み、自他ともに尊重し、品位ある言動で相手を慮ることができる生徒
- ③ 確かなコミュニケーション力を備え、故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く
理解し、他国の文化を尊重し、社会をよりよくするために行動することができる生徒

【伸ばしたい資質・能力、整えたい体験や披露の機会】

圧倒的な パフォーマンス・ホスピタリティ・コミュニケーション

5 めざす学校像

生き生きと生徒が自らを伸ばし、広い視野に立って社会に貢献する力を培う学校

「Challenge を育て Challenge で育てる学校」

【推奨する支援体制・環境】 Cha,Cha,Cha を、// で、応援・支援

Challenge(挑戦) Chance(機会) Change(変革) Chase(追求) Chat(対話)

6 めざす教員像

- ① 人権感覚を磨き、チームの一員としてホスピタリティ精神をもって安心・安全な学校づくりを推進す
ることのできる教職員
- ② 新しい教育の動きを踏まえ、自らの資質を高めようと学び続ける教職員
- ③ 社会人としてのロールモデルとなる教職員

【生徒・教職員ともに 推奨したい姿勢】

スイコウ:推考(落ち着いて思考)・推敲(立ち止まって修正)・遂行(あきらめず達成)

7 教育目標

- ① 主体的な学びを促す教育の推進
 - ・学習習慣を確立させ、基礎基本を定着させる
 - ・「出会う」体験を通じて視野を広げ、学びを深める
 - ・「為すこと」と「学ぶこと」をつなぎ、協働して課題解決をめざす力を育成する
- ② 規範意識の醸成と基本的な生活習慣の確立
 - ・社会人基礎力としての規範意識・生活習慣を確立する
- ③ 国際教育・英語教育の推進
 - ・グローバル社会をたくましく生きるコミュニケーション力を育成する
 - ・語学の学びを踏まえたグローバルな思考力・表現力を育成する
 - ・物事を多面的に考え、多様性を受け容れる力を育成する

8 重点目標

- (1) 自他を尊重し、互いの成長を認め合う教育活動の推進
- (2) 確かな学力に定着・伸長と、考える授業・表現する授業の展開
- (3) 普通科、国際コミュニケーション科それぞれの特性を生かしたキャリア教育の推進と進路実現
- (4) 探究型学習の推進
- (5) 部活動、生徒会活動、ボランティア活動への積極的な取組
- (6) 高専連携、高大連携の推進
- (7) 地域、PTA、同窓会等との連携と、活発な情報発信

9 改革推進項目

- (1) 基礎学力の伸長
 - ① 授業に向き合う姿勢の共通理解 … 学び方を学ばせる指導
 - ② 思考力・表現力につながる読書活動の推進
 - ③ 生徒にとって面白く発見のある授業の研究
- (2) 品位あるふるまいの育成
 - ① TPOを自覚したふるまいの育成
 - ② 互いに気持ちよく過ごすための言動の育成
- (3) 卒業時を見通した教育活動のデザイン
 - ① ルーブリックをベースにした育成型評価の実施
 - ② 探究型学習と教科学習の往還
- (4) 働き方改革の推進
 - ① アンケート等の分析に基づいた指導の在り方の検討・検証
 - ② ICT 機器を活用した業務改革の推進
 - ③ 連携・協力に基づいた業務の遂行

【R6の挑戦】

1. 魅力化推進体制の強化
 - ・コーディネーター2人体制
(担当割:地域連携・高大連携)
2. 外国語教育の更なる充実
 - ・ALTの常駐化
 - ・外国語大学でのキャンパス体験
 - ・海外友好都市との交流
3. よりよく学ぶ・働く環境の整備
 - ・時間割変更の原則廃止
 - ・定期試験の削減(中間試験廃止)
 - ・複数担任制の試行的導入
4. キャリア教育の観点の重視
 - ・知る、かかわる、つながる、活かす
 - ・効果的な体験機会の創出
 - ・進路実現につながる学習の推進
5. 言葉による表現・伝達の重視
 - ・「～ない」より「～よう」を推奨
 - ・印象的な、心に残る言葉の工夫
 - ・機に応じたスローガンの提示と反復
6. 女子高ならではの魅力の構築と発信
 - ・特長や強みを活かす工夫
 - ・中学生等への効果的な広報